



‘栄研’

News Release

2024年3月28日

各位

会社名 栄研化学株式会社
代表者名 代表執行役社長 納富継宣
コード番号 4549 東証プライム

温室効果ガス排出量削減目標の上方修正 および SBT (Science Based Targets) 認定取得に関するお知らせ

栄研化学株式会社（本社：東京都台東区）は、2050年カーボンニュートラルの実現*に向けて、2030年度までの温室効果ガス（以下、GHG）排出量スコープ1+2の削減目標をこのたび上方修正するとともに、新たにスコープ3の削減目標を設定いたしました。本目標につきまして、国際的なイニシアチブであるSBTi (Science Based Targets Initiative) より、「地球の気温上昇を産業革命前より2°Cを十分に下回る水準に抑え、また1.5°Cに抑えることを目指す」というパリ協定の求める水準と適合した科学的な根拠に基づいた目標としてSBT認定を取得いたしましたのでお知らせいたします。



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

【今回 SBT 認定された GHG 排出量削減目標（2030 年度目標）】

- ・スコープ 1+2 GHG 排出量（絶対量）を 56 % 削減（2021 年度比） 旧: 30%削減（2018 年度比）
- ・スコープ 3 GHG 排出量（絶対量）を 25 % 削減（2022 年度比）

当社グループは、2022年4月に公表した「EIKEN ROAD MAP 2030」において、「気候変動への対応」をマテリアリティの一つとして掲げ、具体的な目標を定めて計画的・継続的に取り組みを進めております。主要生産・研究拠点である野木事業所および生産拠点である那須事業所では、省エネ活動に加え、発電の際にCO₂を排出しない水力発電由来の電力「とちぎふるさと電気」を採用して全ての電力を賄うなど、その取り組みを加速しております。

今後も、「ヘルスケアを通じて人々の健康を守ります。」の経営理念のもと、サステナビリティ方針に基づき、気候変動への対応をはじめとしたESGの取り組みを強化し、ステークホルダーの皆様への責任を果たすことにより、企業価値の向上、ひいては持続可能な社会の実現を目指してまいります。

*スコープ1・スコープ2が対象

スコープ1：自社での燃料使用や生産プロセスからの直接排出、スコープ2：自社が購入した電気や熱の使用による間接排出、スコープ3：スコープ1・2以外の間接排出

<参考>

栄研グループのサステナビリティ：<https://www.eiken.co.jp/sustainability/>

気候変動への対応：<https://www.eiken.co.jp/sustainability/environment/weather/>

ESG データ集：https://www.eiken.co.jp/sustainability/esg_data/

・SBTi (Science Based Targets initiative) :

CDP、UNGC (国連グローバル・コンパクト)、WRI (世界資源研究所)、WWF (世界自然保護基金) により2015年に設立された国際的な気候変動イニシアチブ。世界の平均気温の上昇をパリ協定が求める水準に抑えるため、企業に対して科学的な根拠に基づいた削減目標を設定することを推進している。

【本件に関するお問い合わせ先】

栄研化学株式会社 サステナビリティ推進部

TEL: 03(5846)3379 、 e-mail: koho@eiken.co.jp

ホームページ <https://www.eiken.co.jp>